|  |
| --- |
| **００１３．輸出入許可通知情報等**  **二重出力用宛先管理登録** |

|  |  |
| --- | --- |
| 業務コード | 業務名 |
| ＵＯＮ | 輸出入許可通知情報等二重出力用  宛先管理登録 |

１．業務概要

　　　輸出入許可通知情報等を、当初業務を実施した端末に出力することに加え、自社システム（ＳＭＴＰ及びＧＷ）へも出力させる必要がある場合に実施する。~~「輸出入許可通知情報等二重出力用基本情報登録（ＵＯＪ）」業務と併せて実施する。~~輸出入許可通知情報等の二重出力要否、出力先利用者コード等の基本情報を登録・削除する。なお、当該業務は「輸出入許可通知情報等二重出力用宛先管理登録呼出し（ＵＯＮ１１）」業務から実施することとし、当該業務を直接実施することはできない。

２．入力者

　　　通関業

３．制限事項

　　　なし

４．入力条件

　（１）入力者チェック

　　　　　システムに登録されている利用者であること。

（２）入力項目チェック

　　（Ａ）単項目チェック

　　　　　　「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

（Ｂ）項目間関連チェック

　　　　　　「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

　（３）利用者ＤＢチェック

　　　①入力された利用者コード（５桁）が利用者ＤＢに存在すること。

　　　②入力された利用者コード（５桁）が入力者の利用者コード（５桁）であること。

　~~（３）出力情報コードＤＢチェック~~

~~①入力された出力情報コードが出力情報コードＤＢに存在すること。~~

~~②二重出力対象の出力情報であること。~~

（４）出力先利用者コードチェック

　　　　①入力された出力先利用者コード（５桁）が利用者ＤＢに存在すること。

②入力された利用者コード（５桁）と出力先利用者コード（５桁）が一致すること。

③ＱＥＸ出力先システム形態にｎｅｔＡＰＩを指定した場合、入力された出力先利用者コードに係る利用者ＩＤの６桁目が「Ｖ」のものが利用者ＩＤＤＢに存在すること。

④ＱＥＸ出力先システム形態にＳＭＴＰ双方向を指定した場合、入力された出力先利用者コードに係る利用者ＩＤの６桁目が「Ｙ」のものが利用者ＩＤＤＢに存在すること。

~~（４）~~（５）利用者メールＤＢチェック

　　　　　入力者の利用者コードとメールボックスＩＤが利用者メールＤＢに存在すること。

~~（５）~~（６）端末管理ＤＢチェック

　　　　　入力された出力端末名が端末管理ＤＢに存在すること。

~~（６）~~（７）論理端末所有者ＤＢチェック

　　　　①入力された出力端末名が論理端末所有者ＤＢに存在すること。

　　　　②入力された出力端末名が入力者の所有する端末であること。

　（８）論理端末名チェック

　　　　　入力された出力端末名の先頭から６文字目が「Ｙ」または「Ｖ」であること。

~~（７）利用者ＤＢチェック~~

~~入力された出力先利用者コードが入力者であることのチェックを、以下のとおり行う。~~

|  |  |
| --- | --- |
| ~~送信先種別~~ | ~~入力者~~ |
| ~~Ｉ（即時型）~~  ~~Ｅ（蓄積型）~~ | ~~ＧＷ利用者およびＳＭＴＰ双方向利用者~~ |

　（９）ＳＭＴＰ双方向またはｎｅｔＡＰＩにおける出力先チェック

　　　　　ＳＭＴＰ双方向またはｎｅｔＡＰＩに出力する旨の入力がされた場合、「輸出・航空」「輸入・航空」「輸出・海上」「輸入・海上」のすべての区分で論理端末名または出力先利用者コードが入力されていること。

５．処理内容

　（１）入力チェック処理

　　　　　前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「０００００－００００－００００」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「０００００－００００－００００」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

　（２）利用者ＤＢ処理

　　（Ａ）二重出力を希望する場合

　　　　　　二重出力する旨を登録する。

　　（Ｂ）二重出力を希望しない場合

　　　　　　二重出力しない旨を登録する。

~~（２）~~（３）輸出入許可情報二重出力用ＥＸＣ型宛先管理ＤＢ処理

　　（Ａ）登録の場合

　　　　　入力内容を輸出入許可情報二重出力用ＥＸＣ型宛先管理ＤＢに登録する。

　　（Ｂ）削除の場合（二重出力を希望しない場合を含む）

　　　　　登録されている内容を輸出入許可情報二重出力用ＥＸＣ型宛先管理ＤＢから削除する。

（４）二重出力用宛先管理情報編集処理

　　　　　利用者ＤＢ、輸出入許可情報二重出力用ＥＸＣ型宛先管理ＤＢより編集処理を行う。

~~（４）~~（５）出力情報出力処理

　　　　　後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

６．出力情報

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 情報名 | 出力条件 | 出力先 |
| 処理結果通知 | なし | 入力者 |
| 二重出力用宛先管理情報 | なし | 入力者 |

７．特記事項

　　　ＣＳＦオンラインメンテナンス規制時間帯ＤＢにて定められた時間帯は業務規制時間帯となり、当該業務を実施することができない。（規制時間帯は別途定めることとする）